

06 部活動

eスポーツ部

茨城県立高校のeスポーツの拠点校を目指します

令和7年度実績

- ・令和7年度、令和8年度 公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団 次世代研究者助成事業 採択
- ・NASEF FARMCRAFT® いばらきコンテスト2025 優良賞
- ・いばらきGAMING DAY2025 出展
- ・令和7年度笠間市高齢福祉課eスポーツ支援事業協力
- TOKYO GAME SHOW2025 巡検
- ・ハエスポーツLOL強化合宿サマーキャンプ2025(滋賀合宿) 参加
- ・IT未来オースタムキャンプ2025(LoL秋合宿)開催
- IT未来eスポーツVALORANT デイキャンプ2025開催 その他



東京ゲームショウ2025 視察

情報システム部

プログラミング力を鍛え、課題解決に取り組みます

令和7年度実績

- ・未踏ジュニア 採択
- ・デジタル学園祭2025(フューチャーインパクト部門)大阪・関西万博 4組出場
- ・中高生Ruby プログラミングコンテスト2025 最優秀賞、審査員特別賞 4組出場
- ・第8回中高生情報学研究コンテスト 中高生研究賞奨励賞、入選 4組出場
- ・スモウルビープログラミング甲子園2025 準優勝
- ・全国高校生MY PROJECT AWARD2025 地域Summit 特別賞
- ・ライフイズテックレスコンテスト冬の部 優秀賞、特別賞 3組受賞
- ・第7回プレゼンテーション大会「IBARAKI ドリーム☆パス AWARD」金賞



第7回IBARAKI ドリーム☆パス AWARD

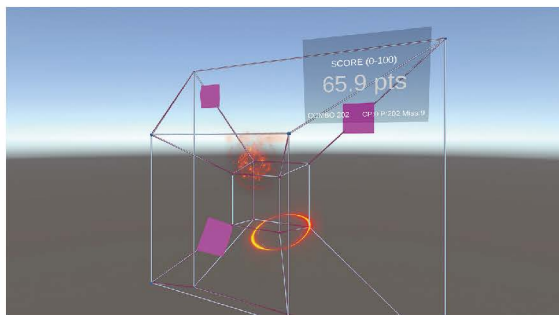
第5回Joyo High school テック コンテスト

情報デザイン部

目的や状況に応じてどのように伝えるか考えます

活動内容

- ・iMac, iPad Pro, Adobe Creative Cloudの各アプリを用いた作品制作
- ・ポスター、メディア、アート、アニメーション、3DCG等での各種コンテストへの参加



ゲーム制作

JRC部

JRC地域貢献活動に積極的に取り組みます

活動内容

- ・笠間市社会福祉協議会と連携したボランティア活動(募金・寄附活動、講座参加等)
- ・花壇整備、イベント・大会の運営補助等の地域ボランティア活動



水戸黄門漫遊マラソンボランティア

運動部

卓球・バドミントン・ソフトテニス

- ・令和7年度より新設
- ・定時制通信制体育大会への出場を目指して活動中

令和7年度実績

<ソフトテニス部> 令和7年度茨城県高等学校定時制通信制秋季体育大会ソフトテニス大会 個人戦3位

<バドミントン部> 令和7年度茨城県高等学校定時制通信制体育大会バドミントン大会兼全国大会予選会 男子ダブルス3位
令和7年度茨城県高等学校定時制通信制 秋体育大会バドミントン大会 男子シングルス2位 男子ダブルス3位



バドミントン部



卓球部



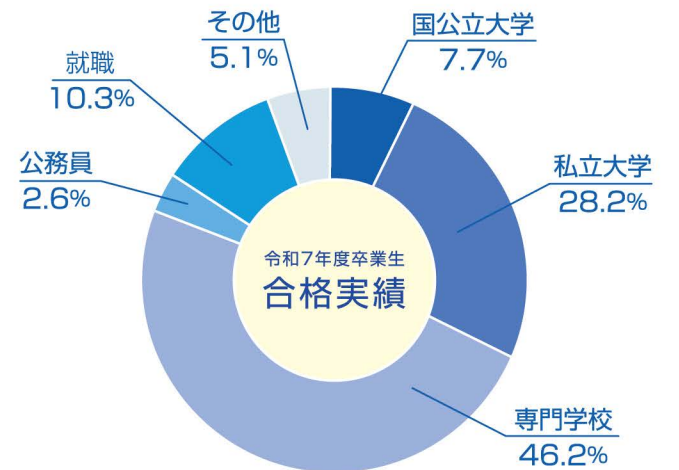
ソフトテニス部

07 卒業生

進路実績 (第1期生)

主な合格実績・就職先

国公立大学	長野大学 2名 北見工業大学 1名
国家公務員	防衛省(サイバー専門部隊) 1名
就 職	常陽コンピューターサービス エム・データ(AIエンジニア)



<令和7年度合格実績>

国 公 立 大 学 北見工業大学、長野大学(2名)

私 立 大 学 近畿大学、東京電機大学、日本大学、麗澤大学(2名)、茨城キリスト教大学、常磐大学、東京情報大学、日本経済大学、デジタルハリウッド大学、ZEN大学

省 庁 大 学 校 防衛大学校*、航空保安大学校(*は学科試験合格)

専門・各種学校 水戸電子専門学校、水戸文化デザイナー学院(2名)、水戸ビューティカレッジ、水戸情報ITクリエイター専門学校(3名)、つくばビジネスカレッジ、TBC学院(小山校)、デジタル&ランゲージ秀林専門学校、VANTANクリエイターアカデミー(2名)

職業能力開発施設 茨城県立情報テクノロジー大学校(3名)、土浦産業技術専門学院(2名)、筑西産業技術専門学院

就 職 防衛省(サイバー専門部隊)、(株)エム・データ、常陽コンピューターサービス(株)、(株)AESC茨城、(株)潤工社

卒業生からのメッセージ



北見工業大学
工学部
金子 拓夢
(千波中)
令和7年度卒業生



長野大学
共創情報科学部
神戸 華璃
(小川北中)
令和7年度卒業生

経験を無駄にせず、
自らの成長を
目指して

防衛省サイバー
専門部隊
飯田 千香子
令和7年度卒業生

私が通っていたIT未来高校の最大の魅力は、ITの現場を知るプロフェッショナルな先生方と最先端の設備に囲まれて、実践的かつ専門的な情報教育を受けられる点です。授業で学ぶことがそのままITの現場に直結しているため、毎日ワクワクしながら学習意欲を高めることができました。

通学時間は少し長めでしたが、その時間は予習・復習、あるいは自分を見つめ直す貴重なひとときとして有効活用できました。

また、生徒の主体性を尊重する校風なので、「自ら考え、行動する力」をどこまでも伸ばせる環境です。自分から一歩踏み出すたびに新しい景色が見えるので、主体的に動けば動くほど、自分でも驚くほどの成長を実感できます!

自分の可能性を信じて挑戦したい方にとって、これ以上ない最高のステージです。自信を持っておすすめします。興味がある方は、ぜひIT未来高校を検討してみてください!

私がIT未来高校で過ごして感じた一番の魅力は、先生方の手厚いサポートと充実した学習環境です。私は入学後、その環境を積極的に活用しながらITに関する知識や技術を身に付けました。先生方は授業だけでなく、課外活動や資格取得に向けた活動まで親身に支えてくださり、多くのことを学ぶことができました。

身に付けた知識を活かして大会に出場し、山梨や東京など様々な場所で発表を行ったほか、大阪・関西万博で自分たちの作品を展示する機会もいただきました。それまでの私は人前に出ることが苦手で引込み思案な性格でしたが、発表練習を重ねるうちに少しずつ自信がつき、人前で自分の考えを伝えられるようになりました。

このような経験は大学受験でも大きな力となりました。総合型選抜では高校での活動をまとめたプレゼンテーションを行い、その結果、志望する大学に合格することができました。IT未来高校には挑戦を後押ししてくれる素晴らしい学習環境があります。皆さんにも是非この学校に入学し、多くのことに挑戦しながら、自分の可能性を大きく広げてほしいと思います。

今、3年間の学校生活を通して「何が一番大事だったか?」と問われれば、「行動力」と答えます。

私は、IT未来高校で本当にたくさんのことを経験してきました。生徒会での行事運営や、イベントへの参加、コンテスト出場など、詳細まで書いたら論文級の長さになってしまうくらいです。

このような経験ができたのも全ては「行動力」が根幹にあります。先生方は多岐からイベントや、大会・コンテストの情報を持ってきてくださいます。また、十分なPC環境に、学習環境も整っています。私自身も卒業をしたからこそ、それを強く実感しています。ですが、口をただ開けて待っているような離鳥状態では何も始まりません。「行動力」が必要なのです。しかし、無鉄砲に挑戦するというわけではありません。最初はそれでもいいかもしれませんが、一様にITといっても分野は様々です。広く浅く、たくさんの挑戦をする中で自分の“芯”を見つけてください。自分のやりたい分野を見つけ、その道を極めていきましょう。

高校生活は、長いように感じるかもしれませんが、実際のところとても短いです。だからこそ、その分集中して大きく成長できる時間でもあります。まずは一步、挑戦するところから始めてみてください。途中でエネルギーが切れても大丈夫です。出し切ったエネルギー分の成長は必ずしています。このIT未来高等学校で多くの経験を経て、知識を吸収し尽くし、ともに未来を切り拓きましょう。